付帯意見

恵那市公立病院等の在り方検討委員会で取りまとめた報告書のほか、医療の在り方の範囲を若干超えているため、結論に至れなかった下記の二つを付帯意見として付記いたします。

〇医療と公共交通

当委員会の主催による恵那市公立病院等の在り方フォーラムで、各地域協議会の代表者から「病院への直通バスや送迎バス、市内を巡回する福祉バスの運行などにより、高齢者でも通院の利用がしやすい交通体系を整備してほしい」といった意見をいただきました。

病院や診療所への交通アクセスの改善について、市全体の交通政策の中で検討を願います。

〇医療と介護の連携

市においても高齢化が今後さらに進展する中、医療と介護においては、それぞれの役割分担や連携の構築が重要な課題であります。

岐阜県医療費適正化計画の中では、医療保険が適用される医療型の療養病床を再編する考え方が示されており、現在ある市立恵那病院の 41 床と国保上矢作病院の 22 床の療養病床についても、介護保険事業への機能移行が進むと予想されます。このような状況の中、医療と介護の役割分担や連携について、十分な検討を願います。